

株式会社 松 屋 2025年6月売上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-24.0	-5.0
② 銀座店	-24.9	-7.0
③ 浅草店	-6.3	-0.9

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。

② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
銀座本店	36.9	15.9	1.0	13.9	18.1	6.5	12.9	-1.0	-9.1	-18.2	-22.1	-24.0
松屋銀座	38.5	16.0	2.4	14.9	18.9	6.9	16.9	0.0	-8.3	-18.4	-22.6	-24.9
松屋浅草	4.1	12.4	-19.0	-9.1	3.5	1.9	-38.4	-19.2	-15.3	-12.0	-11.1	-6.3

3. 店舗別商況

銀座店	6月の銀座店の売上高は、前年に対して約24%減となりました。館全体では、婦人衣料品において梅雨明けを思わせる気候も加勢し盛夏物商材が好調に推移し、プレステージラインの婦人衣料品は前年比6.7%増、免税売上高を除く国内のお客様の売上高も同8.0%増となりました。一方で、免税売上高につきましては、記録的な円安となった前年に対しての本年の買上動向の変化や、ルイ・ヴィトンの改装(仮設営業が月中旬まで続いた)等の要因もあり、靴・バッグを軸としたラグジュアリーブランドは同約35%減となり全体を押し下げました。なお、ルイ・ヴィトンは6/21(土)のリニューアルオープンし、今後、あらためて銀座店の強みとなるカテゴリーの強化による集客と売上高の拡大が想定されます。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-9.4	-9.5
婦人服・洋品	-17.9	-18.0
子供服・洋品	-7.5	-7.5
呉服寝具他	-40.3	-42.6
衣料品計	-17.6	-17.8
身廻り品	-36.2	-36.3
雑貨	-8.9	-8.5
家具	-41.2	-41.4
家電	249.4	249.4
家庭用品	-7.5	-7.5
家庭用品計	-20.9	-20.8
食料品	1.1	2.4
食堂・喫茶	-8.9	-9.8
サービス、その他	-30.2	-30.9
合計	-24.0	-24.9

※「2025年7月売上速報」は、8/1(金)16時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松 屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課
Mobile : 070-4547-7555